

TV(1-12ch)/FM/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みにになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-S79V



* 3 8 6 0 7 0 2 0 8 *

©1997 Sony Corporation Printed in China

主な特長

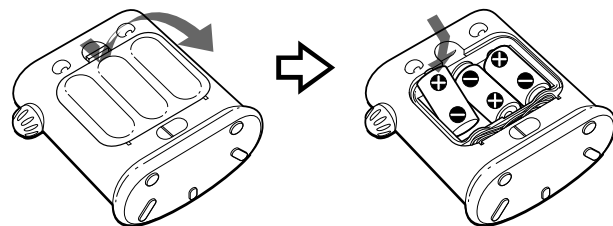
- 多少の雨や雪、水しぶきのかかるところでも使える防滴機構*。
- 90分から1分のあいだを1分単位で設定できるタイマー機能。
- 希望の時間を設定できるオートオフ機能。
- わかりやすい日本語機能表示。

* このラジオの防滴の種類は防滴II形（JIS日本工業規格）です。多少の雨や雪、水しぶき程度なら支障なく使用できますが、水の中につけたり、湿気が多い風呂場などに長時間放置すると、故障の原因となることがあります。

準備する

電源について

乾電池で使うには



単2形乾電池3本

- 電池入れのふたを開ける。**
表面に水滴がついているときは、乾いた布でふき取ってから、ふたを開けてください。
- 乾電池を入れる。**
初めて乾電池を入れると、表示窓に「AM 12:00」が点滅します。点滅を止めるには、現時刻ボタンを押します。
- ふたを閉める。**
カチッと音がするまでしっかり閉めてください。

乾電池の持続時間	ソニー単2形(R14)マンガン乾電池使用時(JEITA*)
放送の種類	持続時間
TV放送	約65時間
FM放送	約80時間
AM放送	約110時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、音が小さくなったり、ひすんだりします。さらに消耗すると、表示窓に「⌘」が点滅し、さらに消耗すると点灯して、ラジオが止まります。その場合は、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

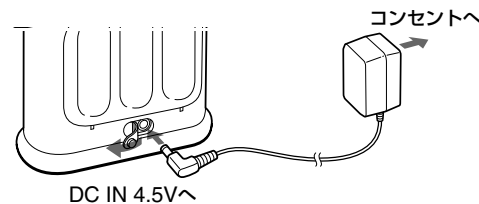
- 交換するときは、約1分以内に入れ換えてください。約1分以上経過すると、プリセットした放送局や、時計、タイマー設定が初期状態に戻ります。その場合は、もう一度合わせてください。
- 交換したあとは、ラジオ入ボタンを押して、表示窓の「⌘」を消してください。

ご注意

- 長い間乾電池を抜いておくと、ご自分で記憶させた放送局や時刻設定は消えてしまいます。その場合はプリセットをやり直してください。
- 長い間本機を使わない場合でも、時計と内蔵のマイコンのバックアップのため、乾電池は入れたままにしておいてください。この場合にも電池は消耗しますので約1年でお取り換えください。
- 外部電源のプラグを抜き差しするときは、ラジオの電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま行なうと、電源が切れて「⌘」表示が出ることがあります。この場合、もう一度ラジオの電源を入れると表示は消えます。

コンセント(家庭用電源100 V)で使うには

別売りのACパワーアダプターをDC IN 4.5 V端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。乾電池が入っていても自動的に家庭用電源に切り換わります。DC IN 4.5 V端子を使わない場合は、水が入らないようにカバーを確実に閉じてください。



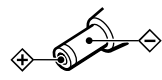
DC IN 4.5Vへ

留守にするときは

旅行などで長い間ご使用にならないときは、ACパワーアダプターをDC IN 4.5 V端子とコンセントから抜いてください。

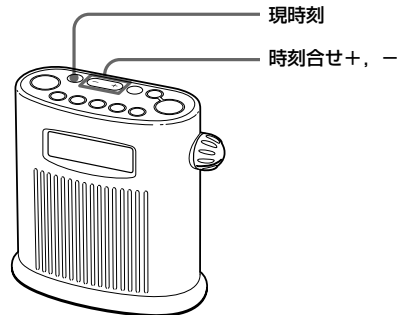
ご注意

- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E45M（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

時計を合わせる

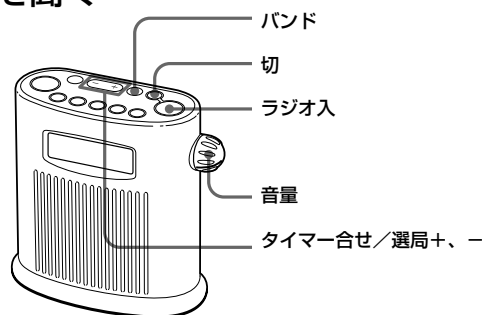


- 現時刻ボタン**を押しながら、時刻合せ+または-ボタンを押して、時刻を合わせる。
+ボタンを押すと時刻が進み、-ボタンを押すと戻ります。押し続けると速く変わります。
- 時報**（電話117番など）と同時に、**現時刻ボタン**から指を離す。表示窓の「:」が点滅を始め、時計が動き出します。

- 時計は12時間表示です。AMは午前、PMは午後です。
AM12:00＝真夜中
PM12:00＝正午

ラジオを聞く

ラジオを聞く



- ラジオ入ボタン**を押して、電源を入れる。
- バンドボタン**を押して、AM1*、AM2*、FMまたはTVを選ぶ。ボタンを1回押すごとに、バンド表示が変わります。
- タイマー合せ/選局+、-**ボタンを押して、聞きたい放送局を選ぶ。
- 音量つまみ**を回して、音量を調節する。

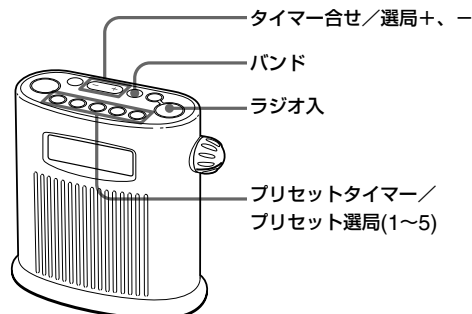
* AM1とAM2は放送局をプリセットボタンに記憶しておくときに使います。ラジオを聞くときには、どちらに合わせたも同じです。（「いつも聞く放送局を記憶させて聞くープリセット選局」参照）

電源を切るには

切ボタンを押します。

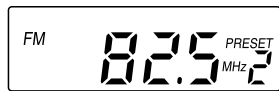
いつも聞く放送局を記憶させて聞くープリセット選局

いつも聞く放送局をTV、FM、AM1、AM2、各5局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセットボタンを選ぶだけで受信できます。



- 電源**を入れる。
- 記憶させる放送局を受信**する。
- 記憶させたいプリセットタイマー/プリセット選局ボタン**（1～5）を選んで2秒以上押す。
「ピピッ」という音が出て、放送局が記憶されます。

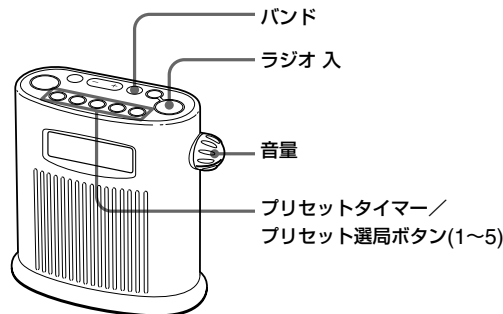
例) プリセットボタン「2」にFMの82.5 MHzを記憶させたときの表示



記憶させた放送局を変更するには

手順2からやり直してください。前に記憶させた放送局は消えます。

記憶させた局を聞くには

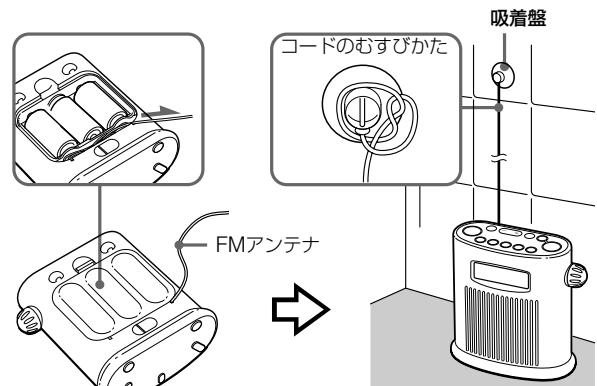


- 電源**を入れる。
- バンドボタン**を押して、聞きたい放送局を記憶させてあるバンドを選ぶ。
- 聞きたい放送局を記憶させてあるプリセットタイマー/プリセット選局ボタン**（1～5）を押す。
- 音量つまみ**を回して、音量を調節する。

受信状態を良くする

テレビ、FM放送の場合

FMアンテナのコードを最も良く受信できる方向に伸ばしてください。FMアンテナを固定する場合は、付属の吸着盤をお使いください。



AM放送の場合

AMアンテナは内蔵しているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。

テレビ放送の受信についてのご注意
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。	http://www.sony.co.jp/support
使い方相談窓口 フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS…一部のIP電話…0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
修理相談窓口 フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS…一部のIP電話…0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00 ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1	

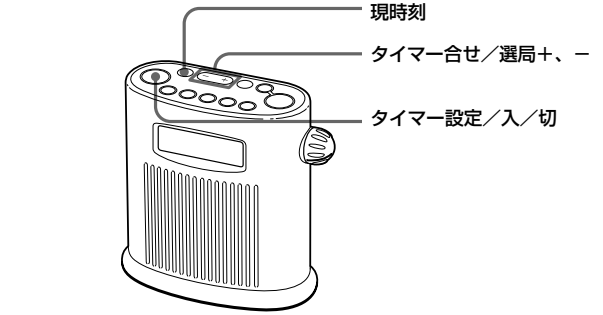
品名	ラジオ
型名	ICF-S79V
保証書	T10-1001A-4
ここに保証書が入ります	
Complete the film by inserting the warranty at this position.	
在此處插入保證書完成菲林。	
在此位置插入保证书以完成胶片。	


▶便利な機能

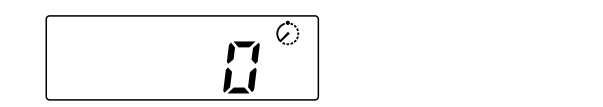
タイマーを使う


希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。90分から1分後まで、1分刻みで設定することができます。

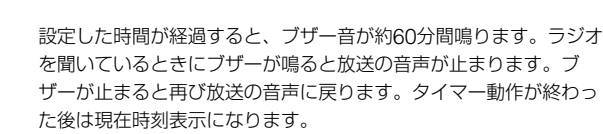
タイマーを設定する



- タイマー設定/入/切ボタンを押す。**
表示窓に「0」とタイマー表示「が表示されます。



- タイマー合せ/選局+または-ボタンを押して、希望の動作時間を表示させる。**
- タイマー設定/入/切ボタンをもう一度押す。**
「ピピッ」という音がして、表示窓の「が点滅をはじめ、表示された時間からタイマーが動きます。



設定した時間が経過すると、ブザー音が約60分間鳴ります。ラジオを聞いているときにブザーが鳴ると放送の音声が始まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。タイマー動作が終わった後は現在時刻表示になります。

タイマー設定/入/切ボタンを押した後の様子。

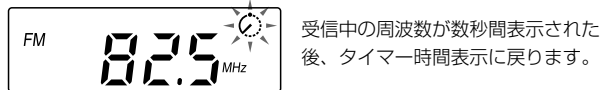
ブザーを止めるには
タイマー設定/入/切ボタンを押します。

タイマー設定/入/切ボタンを押した後の様子。

タイマーを解除するには
タイマー設定/入/切ボタンを押します。表示窓の「が消え、現在時刻表示になります。

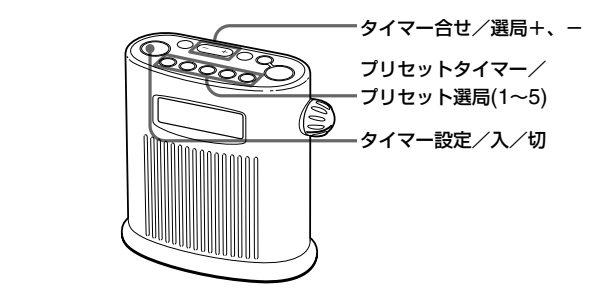


現在時刻表示に変えるには
現時刻ボタンを押します。



よく使うタイマーの時間を記憶させる

よく使うタイマーの時間を5種類まで記憶させることができます。



手順1、2でタイマーの動作時間を表示させた後、記憶させたいプリセットタイマー/プリセット選局ボタン(1~5)を選んで「ピピッ」と鳴るまで押したままにします。

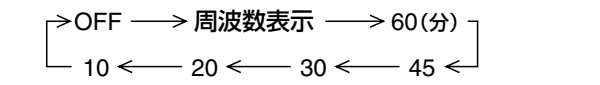
記憶させたタイマーを使うには
タイマー設定/入/切ボタンを押した後、使いたい時間を記憶させてあるプリセットタイマー/プリセット選局ボタン(1~5)を押します。もう一度タイマー設定/入/切ボタンを押すとタイマーが動きます。

タイマー設定/入/切ボタンを押した後の様子。

オートオフ機能を使う

設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

- ラジオ入ボタンを押して電源を入れる。**
- もう一度ラジオ入ボタンを押す。繰り返し押して希望の時間を表示させる。**
押すごとに次のように切り換わります。



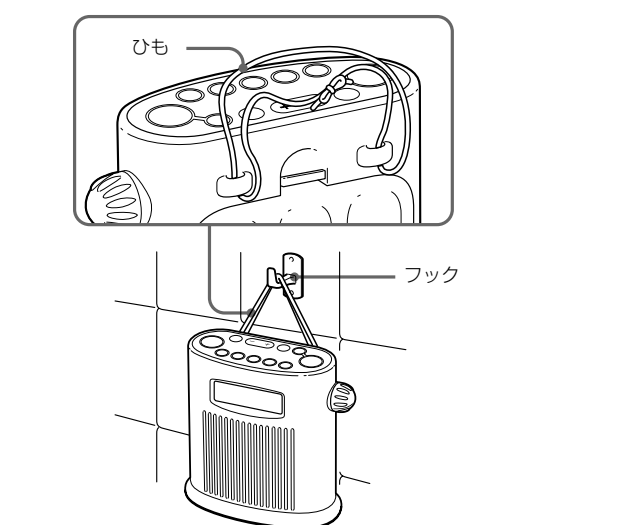
数秒後、オートオフ表示が現在時刻表示に変わり、オートオフ機能がスタートします。設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

設定後に動作時間を変えるには
ラジオ入ボタンを繰り返し押して、希望の時間を選びます。

途中で電源を切るには
切ボタンを押します。

ラジオをつり下げてお使いになりたいときは

図のように取り付けてお使いください。



▶その他

使用上のご注意 取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 一温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所(0℃以下)。
 - 一直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 一風呂場など湿気の多い所。
 - 一窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気を変化して使えなくなることがあります。
- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

防水性についてのご注意

- このラジオは、多少の雨や雪、水しぶきのかかるところでも使える防滴機構になっていますが、次の点に十分ご注意ください。
- 大量に水をかけないでください。
 - 水の中につけないでください。
 - 水がかかったり、水中に落ちた場合は、すぐ引き上げて、乾いた布で水分を拭き取ってください。特に**電池ぶた内部は防滴機構ではありません。電池は錆びることがあります**ので、電池入れの中も以下のように拭き取ってください。
 - 一電池ぶたの開閉は、水のかからないところで、乾いた手で行います。
 - 一電池と、電池入れの中をよく拭き取ります。特に、端子部分に水分が残らないようにします。
 - スピーカー内に水が入った場合は、本体をさかさまにして水を出してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	TV：1～12チャンネル*1 <p>FM：76～90 MHz</p> <p>AM：531～1710 kHz</p>
スピーカー	直径 7.7 cm 丸型 8Ω 1個
実用最大出力	220 mW（JEITA*2）
電源	DC 4.5 V 単2形乾電池 3本
外部電源端子	DC IN 4.5 V
最大外形寸法	約143.5 × 139 × 67 mm（幅/高さ/奥行き）(JEITA)*2
質量	約 528 g（乾電池含む）

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。
*2 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品
ソニー単2形乾電池（お試用*）(3)
吸着盤(1)
取扱説明書・保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

*付属の乾電池はお試用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書とアフターサービス

保証書
●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて
調子が悪いときは
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。